

平成23年度 磐

重点	目標・取組	評価指標	自己評価
「確かな学力を保障する」を学校	基本的な学習習慣の定着	生徒は、どの授業でも真剣に学習に取り組んでいるか。	A
		生徒は、落ち着いて朝読書をしているか。	A
	基礎学力の定着	「とことんテスト」で、生徒の基礎学力は定着しているか。	A
	学ぶ意欲の向上	自ら課題を見つけ、追求する学習態度が見られたか。	B
きれいな学校	基本的な生活習慣の定着	生徒は、元気なあいさつができているか。	A
		生徒は、日ごろ品のある身なりをしているか。	A
		生徒は、善悪を判断して、正しい行動をしているか。	A
	よりよい人間関係づくり	生徒は、場面に応じて、他人を思いやり、そっとアシストしたりしているか。	B
		生徒は、場面に応じて、自分や他人にやさしい言葉づかいをしているか。	B
	豊かな活動の推進	生徒は、学校や地域のボランティア活動に積極的に参加しているか。	A
		生徒は、美しい学校づくりのために、意識して清掃に取り組んでいるか。	B
		授業や合唱コンクールの練習等で、明るい歌声が校内に響いているか。	A
	心と身体を磨く部活動	生徒は、部活動に粘り強く取り組んでいるか。	A
	開かれた学校づくり	保護者関連行事や学年・学校だより等で、学校と家庭・地域との連携は深められてきたか。	A

学

○生徒に夢を持たせ、目標の設定と実践をさせて、個に応じた配慮ある指導・支援をする。
 ○落ち着いた授業態度が継続できるように、授業改善に取り組み、分かる授業・個に応じた授業をしていく。
 ○とことんテスト(基礎学力定着テスト)の不合格者の特性を考慮した指導を丁寧に行う。
 ○あいさつの向上は、地域・小学校との連携を図り会議の話題に取り上げ、生徒会活動、
 ○ボランティア活動を紹介する掲示板を設定する。参加した生徒を称揚し、参加への意欲
 ○美しい学校には、「心の美しさ」と「環境面の美しさ」があることを生徒に自覚させ、特に、
 えた指導をしたい。Q-U検査を用いて、個々の生徒の心情を把握する。

田市立豊田中学校 学校評価書

考察・改善策

○全般的に生徒は落ち着いた授業態度で、学習活動にまじめに取り組んでいる。
※学習態度だけでなく、課題提出や予習・復習等についても指導を充実させたい。

○朝読書の時間は、ほとんどの生徒が集中して読書をしている。習慣化されている。
※図書委員会による良書紹介の機会を多くしたい。読書量の多い生徒を称揚したい

○県学力調査等の結果を考察すると、国・数・英の基礎学力は定着しているといえる。
※不合格生徒の基礎学力が向上するように、特性を考慮した個別指導を工夫する。

○授業で分からないことを自ら質問したり、調べたりする生徒は65%であった。
※教科や総合的な学習の時間で、自らの学習課題に取り組む活動を充実させたい。

○「進んであいさつができる」と答えた生徒は95%であった。学校自慢にしたい。
※校外で元気にあいさつができるように、家庭や地域と協力して指導していきたい。

○全体的に服装等の乱れはなく、ほとんどの生徒が中学生らしい身なりである。
※生徒会生活委員会による月1回の点検は生徒の意識を高くしているので継続する。

○「生活のきまりを守っている」と答えた生徒は94%。この気構えが基盤である。
※正しいことを行動で表せるように、よい言動は称揚し、実践力を培いたい。

○福祉体験学習で、そっとアシストを実践した。思いやりに欠ける言動も一部にある。
※思いやりの気持ちをどう行動に移せばよいか、道徳で実践力を学習させたい。

○場をわきまえた言葉遣いをしたいという意識はあるが、実践は難しい。
※学級活動や道徳で、場面に応じた言葉の大切さについて指導を充実させたい。

○学校内外のボランティア活動に参加した（しようした）生徒は83%と多い。
※ボランティア活動への参加者を増やし、愛校心・郷土愛を高めていきたい。

○清掃活動にしっかり取り組んでいると答えた生徒は94%。実態は今一歩である。
※生徒の環境美化委員会を活用し、清掃の開始時刻厳守や作業分担を指導したい。

○合唱コンクールでは協力し取り組む姿がある。校内から明るい歌声が聞こえてくる。
※行事以外でも、年間を通して歌声が響く学級を増やしたい。

○「部活動は充実している」と答えた生徒は88%、保護者は84%である。
※向上心がやや不足気味のため、個々の生徒に目標をもたせて部活動に取り組ませる。

○学校から家庭への情報提供に好意的に受け止めている保護者は、90%いる。
※各種たよりやホームページでの情報発信を定期的に継続したい。

校関係者評価を受けてのまとめ

。その、過程と成果を振り返らせることをとおして、充実感を味わわせる。
た指導を行う。授業における、生徒指導を実践する。来年度も、低学力生徒には、取り出

そのために、教科担任と学級担任で話し合う場を設ける。

PTA活動、豊明会活動(健全育成会)をとおして、積極的なあいさつができるように指導(を高める。民生委員や自治会長との懇談等をとおして、地域でのボランティア活動の状況心の面での「他を思いやりそっとアシスト」「やさしい言葉遣い」が実践できるように、道徳

学校関係者評価委員から

○まじめな授業態度が見て取れる。生徒と教師で授業を作り上げていく雰囲気が感じられる。

○図書室は、生徒が使いやすいように工夫されている。本冊数は、やや少ないと感じた。

○発表に声がやや小さい、元気不足を感じる。

○あいさつは、全般的にできているように思うが地域でのあいさつは、積極性が足りないように思える場面もある。

○あいさつは、学校と地域が連携して育成していきたい。地域の行事や豊明会での活動等とおして顔見知りになりあいさつを交わしたい。

○ボランティア活動に参加しようとする意欲が感じられるので、中学生の地域活動や社協の福祉活動へのボランティアの受入を考えたい。

○家庭環境の心配な家庭がある。家庭の教育力が、不足している家庭が気になる。地域の民生委員との連携を図るようにしたい。

し指導やTT授業により支援し

の充実を図る。

を把握する。

の授業や行事での場面を捉